

上伊那教育会 令和8年度 文学研修会計画

- 1 期 間 5月～9月（月1回）
 第1回 5月29日(金) 第2回 6月19日(金) 第3回 7月17日(金)
 第4回 8月28日(金) 第5回 9月25日(金)
- 2 会 場 上伊那教育会館
- 3 テーマ 「芥川賞と現代作家たち」～ぶらり、芥川賞作品読み歩き（その10）～
 テキスト 1～3回 又吉 直樹「火花」〈第153回受賞作品 2015(平成27年)年上半期〉
 4・5回 砂川 文次「ブラックボックス」〈第166回受賞作品 2021(令和3)年下半期〉

4 ねらい

- (1) 小説（現代文学の短編）を味わい、楽しむ。
 (2) 小説から広く深く学ぶ。
 ・互いの多様な読み方（感じ方・捉え方）や、味わい方を学ぶ
 ・自分の生き方、考え方、今の状況と比べたり、重ねたり、関わらせたりする。
 ・日々の生き方に生かしたり、読書の幅を広げたりする。

5 助言者 野溝 和人 先生（元高遠中学校長）

6 読み合わせのやり方

(1) 事前

必ず作品の読み合わせ範囲を（できたら作品全体を）読む。読み合わせ範囲の中で「最も注目した（印象に残った、見事に感じた、疑問に思った、感動した等の）叙述」を理由とともに挙げられるようにして参加する。難しい漢字や言葉の意味など不明な点をチェックしてこられるとよい。

(2) 当日の流れ

18:00	17:35	17:05	16:45	16:30	16:15
閉会行事	助言者のまとめ（25）	グループ発表・全体共有（10）	グループ活動②（20） ・発表①②を受けた考えの共有 ・グループとしての読み深め ・助言者・発表者との交流	レポーター発表②（9）	レポーター発表①（9）
			各自が印象に残った叙述の共有 ・グループの注目点・叙述・人物	グループ活動①（15） ・自己紹介	読み合わせ範囲の音読（10）
					開会行事



(3) 役割分担

【発表者】

- ①作品から読み取れたこと・心を打たれた叙述や場面・調べたこと・感じたこと、問題提起等を自分なりの角度や視点で記述しA4レポートにまとめる（なるべく具体的な叙述を取り上げて、また、自分自身とも重ねながら。形式ばらずリラックスした内容・体裁でよい。引用は多くしない）。
- ②作家の略歴、生き方、エピソード、（選考委員の評）、疑問点など記述する。なくてもよい。
- ③発表は要点的に、自分として伝えたいことに絞り、角度づけて行う。作品のよさや価値にふれられるとよい。
- ④レポート内容は自由であるが、その日読み合わせる部分に重点を置くようにしたい。（45部印刷）
- ⑤「火花」の3回目、「ブラックボックス」の2回目の発表は、各作品読み合わせの最終回にあたるので、その日の範囲に加えて作品全体についても発表していただきたい。

【司会者】

- ①事前に小説全体を読み通して語句等のチェックをしておくとともに、自分なりのとらえや感想をもって司会に生かせるとよい。可能ならば、発表や発言に対して関わりたい。
- ②事前に、当番とレポート内容の要点について打ち合わせたい。
- ③当日の一人あたりの音読の区切り（数行ずつ）を決めてくる。
- ④当日の司会をする。参会者の人数に合わせて全体で4グループ程度にグループ分けをする。
- ⑤発表や発言が長くなる場合には、時間も見ながら、端的になるように声がけをする。

【参加者】

- ①当日は輪番での音読に参加し、4～6人ほどの小グループで感想交流と自由な語り合いをする。
- ②グループ活動①では、氏名と校名で全員が自己紹介をした後、全員が一人ずつ「最も注目した叙述」を発表する。
 - ・印象に残った文や書かれている叙述、描写についての感想や読み取れたこと。
 - ・登場人物・作品・作者の特徴、気づき。 ・自分と重ねて。 ・作品のよさ、疑問点。
- ③グループ活動②では、発表者のレポートに関わって各自の考えを共有する。この時、全員が語る機会を持てるよう、互いに配慮し合いたい。グループとして注目した点・叙述・人物等について話し合い深める。
- ④小グループで出た考えや意見について、代表者が発表する（端的に）。

【記録者】

- ①読み合わせ会当日の内容や様子を記録する。
- ②A4裏表にまとめ、会報として発行する準備をする。
- ③会報の原案を作成したら、ケルンかC4thで委員長に送る。委員長から助言者へ送り、確認後、委員長よりケルンで各校へ発信される。

【助言者】作品、発表レポート、話し合いについてのまとめと、配布資料による解説。

7 文学講演会

- ・教育会主催研修 文学講演会：10月27日（火）15：00～17：00（予定）
- ・講師：堀井 正子 先生（近代文学研究者）
- ・文学研修まとめの会を講演会内で行う。

8 月例会の予定

回	期日	テキスト	読み合わせ範囲	①司会 1 名	②発表 2 名	③会報 1 名
1	5/29 (金)	「火花」	P7～P64 音読：P21～P28L9	山本 晴香 (春富中)	増澤 絵美 (西春近南小) 河西健太郎 (伊那北小)	長島 一典 (高遠北小)
2	6/19 (金)		P64～P138 音読：P130～P137	宮坂 真生 (箕輪東小)	宮坂 有羽 (南箕輪小) 佐々木 浩 (手良小)	堀 羽音 (赤穂中)
3	7/17 (金)		P139～P171 音読：P142L14～P151L9	松崎 善幸 (飯島小)	村尾 祥 (飯島中) 片庭 萌香 (宮田小)	唐澤 佳右 (赤穂南小)
4	8/28 (金)	「ブラックボックス」	P5～P97L11 音読：P5～P9 及び P60L10～時間まで	峯岸 郁代 (伊那小)	川前 大樹 (長谷小) 長田舜太郎 (伊那中)	穴戸萌百伽 (伊那東小)
5	9/25 (金)		P97 の*印～P186 音読：P180～終わり	中村 二志 (箕輪西小)	山田 裕教 (七久保小) 幸村 怜 (長谷中)	有馬 美沙 (箕輪中部小)

9 その他

- (1) 今年度も、文や文章の叙述に即した実感的な感想を交わし合い、文学作品を気軽に楽しみ、味わいましょう。
- (2) 自由な発表や話し合いを気楽かつ活発にしましょう。司会者は多様な感想が発表されるよう、お願いします。小グループでの自由な語り合いや読み取りの交流を「楽しむ気持ち」を大事にしましょう。
- (3) 積極的に出席して、学び合いましょう。「遅れても参加することが大切」です。是非ご参加ください。